



ほほえみ

2022.11.1
(令和4年11月1日)

第196号

大竹市社協だより

10月3日の街頭募金(市内3か所で実施)

皆さまの善意 55,578円が
集まりました。

(写真はゆめタウン大竹での募金活動の様子)



赤い羽根共同募金へ
のご協力ありがとうございます



(小方中学校生徒のみなさん)

ふれあいネットワーク



この広報紙は共同募金(赤い羽根)配分金を受けて発行しています。



阿多田保育園

大竹市阿多田403-9
TEL 53-7062

この度、阿多田保育園が、RCC放送「イマナマ! 淵上沙紀のBUTSU BUTSU」の滑り台の寄贈先に選ばれました!!

広島の間伐ヒノキで製作した滑り台を淵上アナウンサーが保育園へ届けてくださいました。

たくさんの方々の思いが詰まった滑り台に子どもたちも大歓声!!

木の香りや感触を味わいながら、毎日楽しく遊んでいます。



●この寄贈の様子は、10月18日放送 RCC テレビ「淵上沙紀の BUTSU BUTSU」にて紹介されました。

おおたけ ししょう しゃそうだん し えん 大竹市障がい者相談支援センター

毎年12月3日～9日までの1週間は「障がい者週間」です。

国民の間に広く障がい者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障がい者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として設定されました。

お問い合わせ・ご相談

〒739-0603

大竹市西栄2-4-1(大竹市総合福祉センター サントピア大竹 1階 地域福祉課)

FAX:53-8122 MAIL: soudan@otake-shakyo.or.jp

おおたけ ししょう しゃそうだん し えん

大竹市障がい者相談支援センター TEL: 52-0167

「ぷらっとほーむ」

「利用者にインタビュー!!」

何をしている時が一番たのしい?
さつき作業所のいいところは?

虫行止め(虫よけ剤)
は僕に任せて



金重智史さん

長谷川翔太さん

テープ貼りです。
折ってくれた段ボール
にテープを貼るのが
僕の係です。

みんなとても
やさしいです。
いつも助けてもら
っています。

作業かな・・・
バリ取りと針ケー
スを組み立てるの
が楽しいです。

私も作業です。
どれも楽しいです。



久保美冬さん 藤本順子さん 鶴本裕子さん

朝のカラオケと
資源回収に行くの
が楽しみ♪

「さつき」には「ぷら
っと農園」があります。
いろんな野菜を作っ
ています。

問い合わせ先 「ぷらっとほーむ」 大竹市御園二丁目11-15 TEL57-3935

さつき作業所に福祉車両がやってきた!

10月12日(水)1,673人の郵便局長からなる(一財)中国地方郵便局長協会より、車いすの搭載ができる福祉車両を寄贈して頂きました。

(一財)中国地方郵便局長協会は、大正14年の設立以来、地域貢献事業の推進を目的の一つに掲げられ、13年前より、車いす搭載用福祉車両の寄付事業を始められました。これまでに60台の車両が福祉施設等に寄贈されています。



(一財)中国地方郵便局長協会を代表して、芸北地区郵便局長会副会長である岡本英生様(大竹小方郵便局長)より西尾会長にキーが渡されました。



さつき作業所のみんなは、寄贈いただいた福祉車両の前で
「明日からの送迎が楽しみ!」と記念撮影をしました。



(一財)中国地方郵便局長協会様ありがとうございました。

知恩保育園

絵手紙を楽しみにしている子どもたちの表情を見ることができました。また、高齢者と交流することは、子どもたちにとって「人を思いやる気持ち」と「社会性」を身につける大切な機会となっていると感じています。

今後も「コロナの中でも、お互いに会えない人が少しでも笑顔になれるきっかけづくり」を意識しながら、地域住民さんやご近所の施設同士で助け合える関係ができればと思います。

(園長 御雲尚真さん)



阿多田保育園



おじいちゃんおばあちゃん喜んでくれるかな？早く会いたいねと言いながら子どもたちは手紙を書いていました。

「手紙ありがとう」とはがきに書かれてあるのを見てうれしそうな表情をしていて、子どもたちにとって心温まるいい経験になったと思います。また、お年寄りに対し親しみや敬う気持ちを持つことができたので今後も続けていきたいです。

(保育士 宮下直子さん、上野都さん)

玖波保育所

大竹市内の施設間で連携をとることについて難しいイメージがありましたが、こういった行事を一步一步進めていくことで、何かあった時でもお互いに助け合えると思います。

また、手紙を書く習慣がない中で「どんな人が手紙をくれたのだろう」と想像しながら子どもたちは楽しみながら手紙が書けたと思います。

(所長 三家本佳苗さん、年長担任 横山美貴さん)



ひまわりさかえこども園



子どもたちがおじいちゃんおばあちゃんに手紙をあげる！と張り切っていました。

「ゆうあい」に行ける状況になれば、代表の子どもたち何人かで直接手わたしたいです。施設間で今後も交流を進める中で昔遊びなど、いろんなものを子どもたちに伝えていただけたらと思います。そういえば、自分たち自身も地域の方にレンコンほりや芋ほりをさせていただいたことを思い出しました。

(施設長 大知恭子さん、教頭 澄川伯江さん、
副主幹保育教諭 松木洋輔さん、保育教諭 鈴川花奈子さん)

今回の絵手紙交流は、みなさんの思いが一つになった、素敵なとりくみになりました。
みなさん ありがとうございます。

プロジェクト ～社協マンたちの挑戦～

絵手紙で

心つながる

気持ち伝わる



2020年より、ゆうあい福祉会に入居、利用されている高齢者の方とひまわりさかえこども園、玖波保育所、知恩保育園、阿多田保育園の園児の皆さんで暑中見舞い、年賀状などの絵手紙交流を進めています。今回、絵手紙交流に参加したみなさんの声を紹介します。

この絵手紙交流を始めたきっかけは、新型コロナウイルスの流行により、施設で夏祭りなどの行事や家族との面会が制限されたことです。

そこで「入居・利用されている方と地域住民、家族、友人とのつながりを保つための取り組みが何かできないか」とゆうあい福祉会と社協で一緒に考え、挑戦してみたのがこの絵手紙交流です。



ゆうあいのおじいちゃんおばあちゃんからのちぎり絵と手紙

お互いに手紙をもらって

子どもたちから手紙をもらってうれしかったです。

もらった手紙を家族にみせたりして、今も大切に宝物としてタンスの中にしめています。



ゆうあいの
おばあちゃんから

子どもたちから

- おじいちゃんおばあちゃんげんきですか。がんばります。
- てがみありがとうございます。ごはんいっぱい食べます。からだにきをつけてください。
- てがみをかいてくれたおじいちゃんおばあちゃんにあつてみたいです。
- うんどうかいのとびばこ、でんぐりがえししましたよ。みてほしいです。



絵手紙交流に参加してくれた玖波保育園の年長さん
(左から しょうたくん、ゆきちゃん、あすなちゃん)

「絵手紙交流に参加してみてどうでしたか？」

ゆうあい福祉会

絵手紙を書いているときの入居者、利用者さんたちの目がキラキラしていました。絵手紙を渡す相手のことを思い浮かべながら楽しそうに書かれていました。私たちがこういった交流を進めていくことで子どもから高齢者、全世代すべてを繋ぐ役割も担っているのだと思いました。

また、暑中見舞いの時期になると「子どもたちに暑中見舞いを書こう」という入居者、スタッフの声が聞こえてきます。絵手紙交流が浸透してきたなと感じます。入居者さん、利用者さんたちからは「自分が書いた絵手紙が園児に届く」という楽しみがあるようです。「持続する」ことが大切だと感じています。

(施設長 桜田雅文さん、事務長 伊藤調さん)



こんにちは！大竹市地域包括支援センターです。



社協だより「ほほえみ」9月号で募集しました介護川柳に多数応募いただきありがとうございました。

応募総数 一般の部 100名、178作品、こどもの部 1,445作品の中から各部門の入賞作品が決まりましたので、発表いたします。ユーモアなものから、心温まるもの、涙が出そうになるもの、十人十色の「介護・福祉」のかたちが見てとれるような作品が集まり、嬉しく思っています。

介護川柳

選者 弘兼 秀子 さん

(全日本川柳協会常任幹事、大竹市川柳会会長)
(中国新聞「中国柳壇」選者)

【一般の部】

家ひとり	ホームに來れば	大家族	丸本 美由紀
デイサービス	みんなで過ごす	楽しさよ	山本 精子
おしゃれして	デイサービスに	通う日々	播野 美智子
デイサービス	職員みんな	天使です	米田 保彦
愛嬌で	デイサービスの	アイドルに	荒川 榮子
レクをして	子供心を	思い出す	西村 秋子
極楽よ	デイサービスの	朝風呂は	木野本 澄子
介護の手	阿吽の呼吸	重ねてる	権藤 静江
プロの手を	借りて介護の	荷を軽く	大知 登喜子
体調を	いたわる介護	歩を合わせ	山岡 俊子
【こどもの部】	にっこりに	なつてほしいな	おじいちゃん
おじいちゃん	いっしょに歩く	練習だ	坂本 陸
元気だね	健康いじし	これから	山代屋 瑞希
大丈夫？	介護でつなぐ	笑顔のわ	増田 悠乃
つらいとき	ぼくが助ける	恩返し	中村 月美
おばあちゃん	一人じゃないよ	みんないる	岩井 陽太
介護する	そこに集まる	ありがとう	西村 多恵
介護には	人のやさしさ	溢れてる	伊藤 心美
今までの	人生称え	介護する	矢野 未羽
介護する	優しいあの手	忘れない	武内 優和
			原本 羽奈

入賞者の方には、表彰状と賞品を送付させていただきます。
なお、入賞作品はサントピア館内に11月30日(水)まで掲示しております。

令和4年度「介護の日」講演会

この先を考える(相続・財産管理)

参加ご希望の方は下記まで
申し込み下さい

介護にまつわる課題が多様化する中で、家族に任せるだけでなく、まずは自分自身がどうしたいか考えていくことが大切です。講演会に参加することで、自分はどうしたいか、何から考え、始めたらよいか…考えてみませんか？

【日時】令和4年11月25日(金)13:30~15:00

【講師】広島司法書士会 西岡 志信 先生(西岡志信司法書士事務所)

【参加方法】下記の3会場への来場もしくはZOOMを使ったオンラインでの参加

①サントピア大竹 多目的ホール

②おがたピア 第3研修室

③コミュニティサロン元町 多目的室

※コロナウイルス感染症の影響により、開催方法が変更になる可能性があります。

その際は、大竹市社会福祉協議会のホームページにてお知らせ致します。



問い合わせ:大竹市地域包括支援センター TEL53-1165

令和4年度 障害者社会参加促進事業

聴覚障害者の方への情報保障の2つの講座が終了しました。

要約筆記奉仕員養成講座

期間: 7月23日から8月7日までの土・日曜日 計5回

今年度は、夏休み期間に開催し、大竹高校で福祉を学んでいる生徒さんも参加しました。

講座はボランティアグループ「要約筆記ふたば」のみなさんがわかりやすく丁寧に担当され、10代から70代の14人が熱心に楽しく受講しました。



手話奉仕員養成講座(入門編)

期間: 5月10日から9月20日まで毎週火曜日 計20回

昨年度はコロナの影響により12月までかかりましたが今年は予定通りに終わることができました。ろう講師、健聴講師の方が担当し、10名の受講生のみなさんは和やかなムードで過ごし、来年の基礎編での再会を楽しみに修了しました。



好評開催中!!



ゲームもあるよ♪
友だちとおしゃべりしよ!



宿題は、早く
終わらせちゃお!

こども若者みんなのいばしょ

Free Space

場所: アゼリアおおたけ

日時: 毎週火曜日 午後4時～午後6時

祝祭日・年末年始(12/28～1/3)は、お休みです。その他、自然災害等で急きょ休止する場合があります。冬期は、日暮れが早くなります。行き帰りの方法や時間等について、ご家庭でも話し合いをお願いします。



好きな時間に来て、好きな時間に
帰っていいよ! (*^-^*)

子どもたちの宿題を見たり、話し相手・遊び相手になってくれたり、一緒に楽しい時間を過ごしていただけるボランティアさんも募集しています!



新型コロナウイルスに気をつけながら楽しもう



1. マスクをつけてね!
2. 参加前に必ず熱を測ってね。37.5℃以上の熱があるときは、参加できません(治ったらきてね^^♪)。
3. 換気、アルコール消毒をしています。

問い合わせ 地域福祉課 TEL35-5300

あたたかいご寄付
ありがとうございます

令和4年8月1日から
令和4年9月30日まで

皆様からいただいたご寄付は、福祉のまちづくりのために、有効に活用させていただきます。

ここに、ご芳名を掲載させていただきます。また、ご寄付の金額と、誠にありがとうございます。敬称略。

※金額表示につきましては、ご寄付者のご意向によるものです。

◆香典返しにかえて

金一封父 克己 田中宗典 防鹿

〃 妻 孝子 本間士郎 新町三

〃 夫 寿満 榎田セツミ 玖波二

〃 夫 元久 清水和子 南栄二

5万円父 徳範 榎田博之

金一封父 陽一 小早川涼 油見三

◆一般寄付

金一封 匿名

東南アジアの子どもを

就学させるため

〃 匿名

◆指定寄付(大竹さつき作業所)

金一封 一階堂正子

売店の売上金の一部として

《合計金額 9件 22万6千円》

◆物品寄付

玖波地区社会福祉協議会より、
タオルセット10箱

募集

有料在宅福祉サービス「ほほえみネット」 協力員養成講座を開催します！

有料在宅福祉サービス「ほほえみネット」とは、会員方式の有償ボランティア事業です。

福祉サービスを必要としている方の日常生活（掃除・洗濯・話し相手等）をお手伝いしてみませんか？

日 時：令和4年11月24日（木）13：30～15：00

場 所：サントピア大竹 1階会議室

内 容：①有料在宅福祉サービスについて

②介護予防・生活予防支援総合事業について

対象者：大竹市在住・在勤の方

参加費：無料

申込期限：11月18日（金）

大竹市社会福祉協議会（Tel：52-2275）まで



大竹市社協登録ヘルパー募集

私たちと一緒に、働きませんか？

しっかり働いて収入を得たい人。

家事、育児と両立したい人。

副業として隙間時間で働きたい人。



まずは大竹市社協訪問介護事業所までご連絡ください。

【問い合わせ】(0827)52-2227

相 談 窓 口

事業名	と き	時 間
司法書士による相談(要予約)	毎月第3木曜日 (祝日休み)	13時00分～ 16時00分
よりそいサポートセンター	月～金 (祝日休み)	9時00分～ 17時00分
障がい者相談支援センター	月～金 (祝日休み)	8時30分～ 17時15分
地域包括支援センター	月～金 (祝日休み)	8時30分～ 17時15分

学 習 会

事業名	と き	時 間
手話「さつき」	毎月第2・4火曜日	19時00分～ 20時30分
手話「ママとKAMEの会」	毎月第1・3木曜日	10時00分～ 12時00分
手話「ぼぼんた」	毎月第2・4月曜日	10時00分～ 12時00分
点字「あけぼの」	①月初め(広報等の点訳) ②第3土曜日(勉強会)	9時30分～ 9時30分～ 11時30分
「あけぼの」音訳	毎月第2・4金曜日	10時00分～ 12時00分
要約筆記「ふたば」	毎月第1・3土曜日	13時00分～ 15時00分

編 集 後 記

世界的にコロナ禍が好転し各国間の往来も制限緩和。やっと本来の日常生活が戻って来そうな気配です。人と人が直接交流できる良さを改めて感じます。市内の園児の皆さんと高齢者の方々との絵手紙交流は本当に心が温まります。中学生の皆さんの街頭募金活動も同様で、未来に希望がもてます。自然災害・食糧問題等に揺れた一年でしたが、お互いができる範囲で助け合い、支え合い、より明るく住みよい町にしたいものです。

定 例 的 な 事 業

事業名	と き	時 間	内 容
子育てサロン「すこやか」	毎週水曜日	10時00分～ 12時00分	親子同士がふれあう憩いの場です。
認知症の人との集い「やすらぎの家」	毎週水曜日	10時00分～ 15時00分	認知症の人が集う憩いの場です。
ソーシャルクラブ「青空」	毎月一回	10時00分～ 14時00分	心の病気をもちの方が一緒に過ごす憩いの場です。
サークル「憩い」	毎月第4木曜日	10時00分～ 14時00分	精神障がいをお持ちの方が楽しく集える場所です。
ひきこもり支援	毎月第4火曜日	10時00分～ 11時30分	ひきこもりの方が過ごす場、家族同士のふれあいの場です。
つどいの広場	毎月一回	16時00分～ 20時00分	小中高生が対象のつどいです。夕食の提供があります。

申込み・問い合わせはいつでも **大竹市社会福祉協議会 TEL (0827)52-2211 FAX (0827)53-8122**

編集発行：大竹市社会福祉協議会(大竹市西栄二丁目4番1号 大竹市総合福祉センター[サントピア大竹]内)

メールアドレス〈info@otake-shakyo.or.jp〉ホームページ〈http://www.otake-shakyo.or.jp/〉